

「土に還る古墳とはにわを観察して、命について考えてみよう」

遠藤詩 (4才)

No221 神奈川県川崎市[カテゴリー] キャラクター [観察場所] ベランダのプランター

[感想] 4歳娘は初め絵本の「はにわくん」で埴輪に興味を持ちました。粘度で実際に自分で作った埴輪古墳を観察し始め、言葉だけで教えては理解し難かった古墳埴輪のことも、楽しく学ぶことができました。また、記録的猛暑、台風など、厳しい環境下で観察できたことも、熱いかな寒いかな、大丈夫かななど、感受性豊かにする貴重な体験となりました。最後は古墳埴輪が見られなくなる寂しさを経て、土に還り安堵しました。形こそ変わりなくなっても、心の中には、いつも埴輪が居るねと、命を少し理解できました。最後は親子で、ありがとう。さようなら。



9/13 4歳観察記録最終日 観察してから1ヶ月 台風も去り 古墳もはにわも ほぼ土に還りつつあります 古墳もはにわも 4歳なりに理解しており お墓が土に還り形そのものが 変わりなくなつても魂は なくなりず心に残ることを この観察で学びました 最後は残土ねんどにありが とう 古墳とはにわに ありがとう またねと 手を振りました

